

研 究 分 野	資源評価	部名	資源開発部
研 究 課 題 名	資源評価調査委託事業（底魚資源調査：マガレイ・ハタハタ）		
予 算 区 分	漁業調整費（委託）		
試験研究実施年度・研究期間	H17～H21		
担 当	高橋 宏和		
協 力 ・ 分 担 関 係	なし		
〈目的〉 適切な利用と保護を図るため、日本の周辺海域で利用可能な魚種の資源量を科学的客観的根拠に基づいて評価し、必要な関係資料を整備する。			
〈試験研究方法〉 (1) 漁獲量調査：日本海の漁獲量を調査した。 (2) 銘柄種組成調査：新深浦町漁協の「小カレイ」に含まれるマガレイの組成を調査した。 (3) 魚体測定調査 マガレイ：1～4月は新深浦町漁協、5～8月は新深浦町漁協岩崎支所、9～12月は鰯ヶ沢漁協の魚体について漁業種別銘柄別に体長を測定した。 ハタハタ：11～12月に新深浦町漁協岩崎支所、深浦漁協、鰯ヶ沢漁協の魚体について漁業種別銘柄別に体長を測定した。			
〈結果の概要・要約〉 (1) 漁獲量調査 マガレイの漁獲量は、平成5年から平成18までは減少傾向であったが、平成19年から増加に転じ、平成20年は37トンであった（表1）。ハタハタの漁獲量は、平成17年の844トンをピークに減少に転じたが、平成20年の漁獲量は1,361トンで前年の144トンより大幅に増加し、津軽海峡の竜飛今別漁協でも1.6トンの漁獲があった（表2）。 (2) 銘柄種組成調査 新深浦町漁協での「小カレイ」銘柄に含まれるマガレイの組成を調査し、全体のマガレイの漁獲量の補正に用いた。 (3) 魚体測定調査 マガレイ：漁獲量の多い8月における新深浦町漁協岩崎支所の底建網による漁獲は、銘柄が「小」～「2P」、体長は10～22cmと小型であった（図1）。 ハタハタ：鰯ヶ沢漁協及び新深浦町漁協岩崎支所の漁獲の主体は体長16cm、深浦町漁協の主体は18cmで、体長と年齢の関係から2～3年魚と推測された（図2）。			

〈主要成果の具体的なデータ〉

表 1 日本海マガレイ漁協別漁獲量の推移

	(トン)															
漁 協	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
小 泊	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.3	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1
下 前	0.0	0.0	0.3	0.0	0.1	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
十 三	0.0	0.0	0.3	0.0	0.1	0.1	0.2	0.0	0.0	0.4	0.3	0.3	0.2	0.3	0.2	0.3
鯺ヶ沢	51.5	45.3	27.3	16.2	21.0	19.8	20.0	11.4	6.4	15.6	9.3	7.0	6.0	4.5	8.4	5.8
新深浦町(本所)	21.0	19.6	23.2	15.4	17.8	13.5	14.0	12.4	9.7	7.4	6.3	11.9	7.1	6.8	12.7	9.7
風合瀬	4.3	0.9	1.9	2.6	2.8	2.4	3.9	4.5	3.0	2.1	2.0	2.9	2.6	2.2	3.0	4.9
深 浦	9.3	8.4	7.9	3.6	3.1	3.5	5.6	5.0	2.9	1.5	5.0	5.2	6.8	8.3	9.5	10.2
新深浦町(船作)	0.1	0.2	0.3	0.1	0.2	0.2	0.2	0.4	0.3	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
新深浦町(岩崎)	10.0	13.8	10.9	8.5	8.6	5.7	9.7	6.0	10.2	9.2	13.8	6.2	7.5	5.9	6.4	6.2
合 計	96.1	88.2	72.0	46.3	53.5	45.9	54.2	39.7	32.4	36.3	37.0	33.6	30.4	28.0	40.3	37.3

表 2 青森県ハタハタ漁協別漁獲量の推移

	(トン)											
漁 協	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
竜飛今別(竜飛)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6
小 泊	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.1	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0
下 前	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.7	20.9	0.3	0.0	2.4	15.2
十 三	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
鯨ヶ沢	2.8	2.3	0.2	10.2	10.1	47.0	132.4	299.7	377.6	239.7	69.1	902.5
新深浦町(本所)	0.0	0.3	0.0	0.1	4.6	0.8	191.6	70.7	169.7	5.8	7.2	113.5
風合瀬	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
深 浦	9.1	1.9	2.1	14.7	14.1	10.1	51.8	36.6	33.7	13.8	10.6	18.8
新深浦町(船作)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0
新深浦町(岩崎)	5.1	33.0	13.1	47.7	41.4	187.5	193.3	388.9	262.6	232.8	55.3	308.1
大間越	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6
合 計	17.0	37.4	15.5	72.7	70.3	245.4	578.8	821.3	843.9	492.1	144.6	1363.4

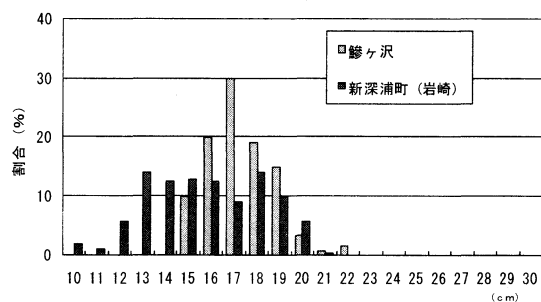


図 1 マガレイ漁協別体長組成(8月)

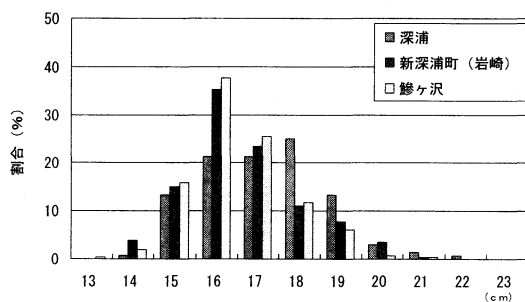


図 2 ハタハタ漁協別体長組成

〈今後の問題点〉

特になし

〈次年度の具体的計画〉

本年度と同様

〈結果の発表・活用状況等〉

漁業者、学識経験者、行政機関が参加する資源評価会議で資源水準や動向を検討し、その結果を、水産庁が「我が国周辺海域の漁業資源評価」として印刷物、インターネットで広く一般国民に公表している。